

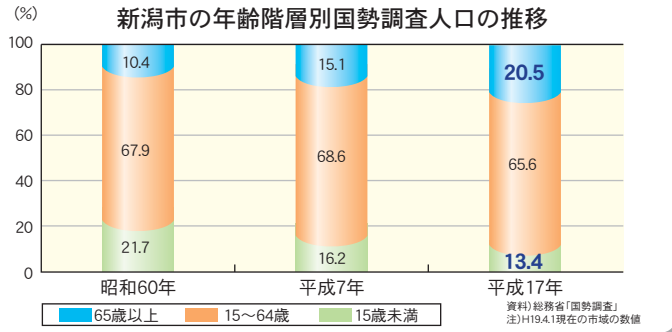
# 1 現状

## なぜ今「食育」？

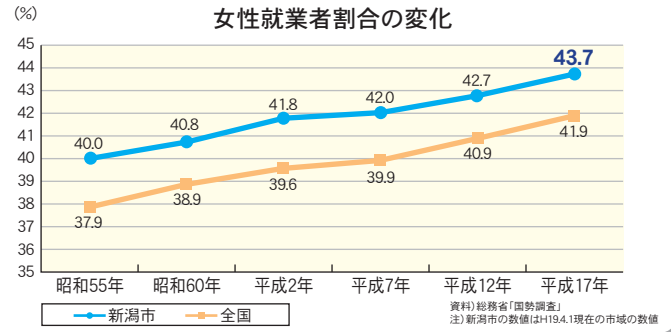
社会経済情勢の変化、ライフスタイルの多様化などにより、健全な食生活が失われつつあります。

### 社会経済情勢

● 少子高齢化が進んでいます。

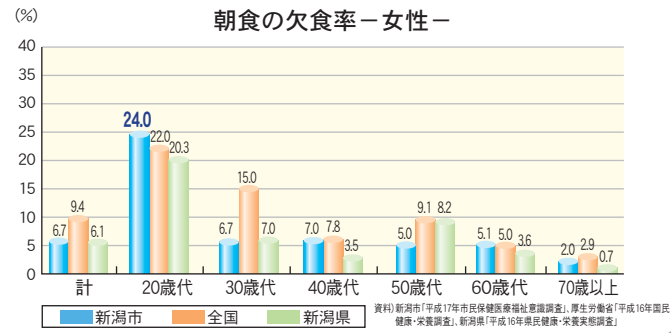
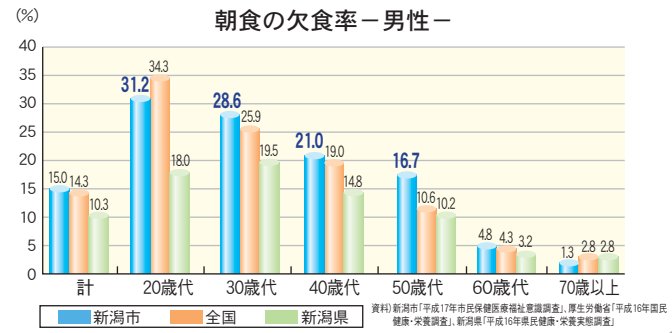


● 女性就業者が増えています。

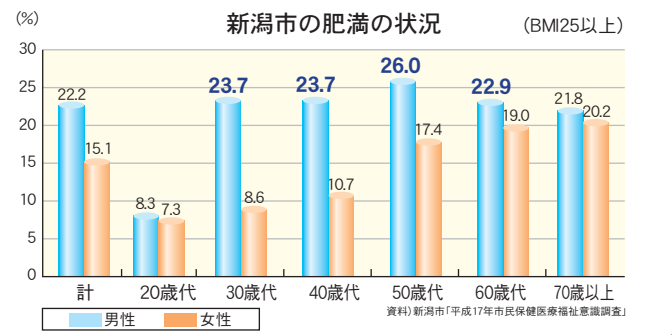


### 食生活と健康

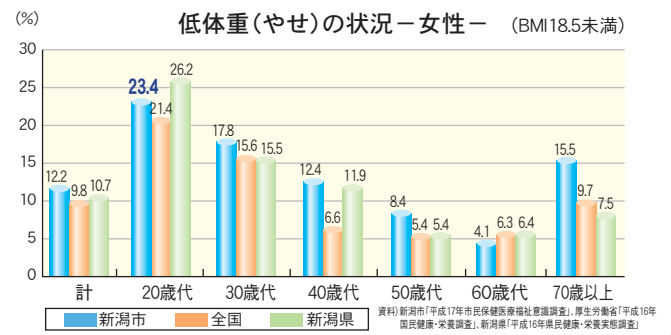
● 朝食を欠食する人は、男女とも20歳代で多く見られます。また、30～50歳代の男性の欠食率が全国に比べて高い状況です。



● 30～60歳代の男性の4人に1人に肥満が見られます。

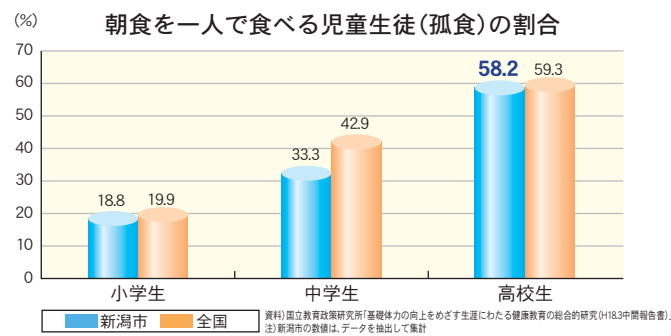
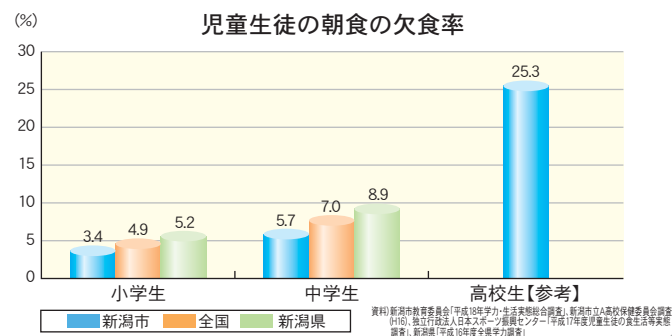


● 20歳代の女性の4人に1人が低体重(やせ)の状況です。



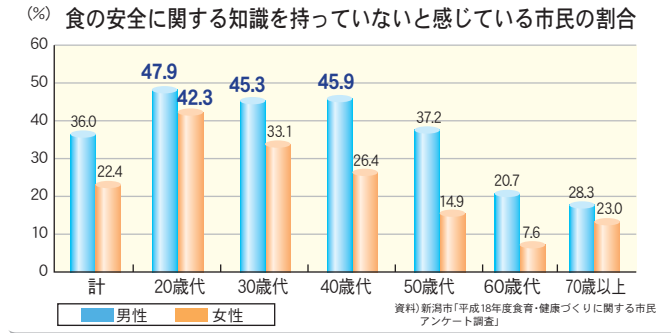
### 子どもの食生活

● 朝食の欠食や孤食は学年が進むにつれ、増える傾向にあります。



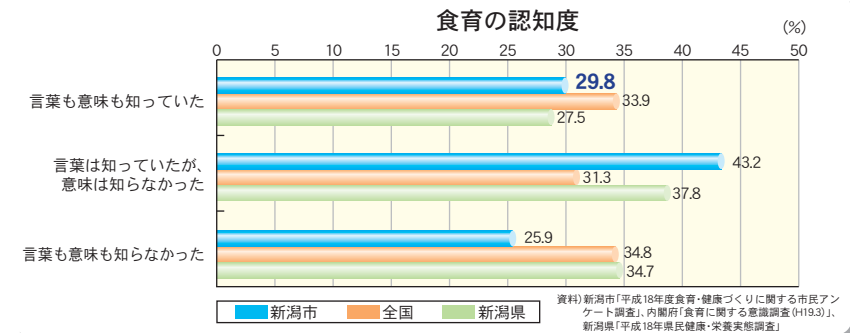
### 食の安全

● 食の安全に関する知識を持っていないと感じている人が多くみられます。



### 食育への関心

● 食育という言葉を知っている人・関心がある人はそれぞれ7割ですが、意味まで知っている人は3割です。



# 2 目標

これらの現状を踏まえ、関係者が一体となって課題の解決に取り組むため、**3つの目標**を定めました

食育推進条例の基本理念を踏まえ、5年間の目標を設定し、その達成が図られるよう取組を推進します。

#### 基本理念

- ① 心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の形成、感謝の念の醸成等
- ② 自発的な意思の尊重、家庭が重要であるという認識のもとでの関係者の有機的な連携
- ③ 特に子どもたちに対する積極的な取組
- ④ 生産者と消費者との交流による地域の活性化や環境と調和のとれた食料の生産・消費

#### 目標 1 市民一人ひとりの健全な食生活の実践

- ・食育に関心をもとう
- ・食事バランスガイドを使おう
- ・朝ごはんを食べよう
- ・メタボリックシンドロームを知ろう
- ・適正体重を目指そう
- ・食の安全についてもっと知ろう
- ・食育推進活動に参加しよう
- ・お店から市民の食生活を支えよう

#### 目標 2 健やかな子どもの成長

- ・食事のときに家族の会話を楽しもう
- ・朝ごはんを食べよう
- ・学校給食で地場産物を使おう
- ・学校で農業体験に取り組もう

#### 目標 3 地域の活性化、環境と調和のとれた食料の生産・消費

- ・市民ランドを利用しよう
- ・学校給食で使った油を活用しよう
- ・環境にやさしい農業を実践しよう
- ・地域の食育推進のために取り組もう
- ・お店から市民の食生活を支えよう
- ・学校給食で地場産物を使おう
- ・学校で農業体験に取り組もう

#### (食育推進の目的)

市民一人ひとりが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むこと

**いきいき暮らせる活力ある住みよいまち “新潟” の実現**